



～お知らせ～

早いもので、もう師走、今年もあと少しです。インフルエンザのピークが年末にくるとの報道が一部の新聞等に掲載されています。コロナ同様くれぐれもご注意ください。



先日、開かれた協会の会議で、来年度に向けての新たな要領の改正などの準備が着々と進められているとの情報提供がありました。前にも説明しましたが、木造、非木造建物の調査算定要領の見直しが行われプレハブ建物などが見積りに寄らず調査算定要領により取り扱われることになりそうです。また、発注者支援業務の仕様書等が一部改正されるようです。今後の動向を注視してください。

さて、年末恒例の「2023新語・流行語大賞」の年間大賞が発表されました。今年話題になった言葉に贈られる「現代用語の基礎知識選 2023ユーキャン新語・流行語大賞」が1日発表され、年間大賞には、38年ぶり2度目の日本一となったプロ野球・阪神タイガースの今季スローガン「アレ(A. R. E.)」が選ばれました。優勝を意味するが、選手が過度に意識しないよう岡田彰布監督が「アレ」と表現し、選手やファンのみならず全国的にも浸透しました。

トップテンには、首振りダンスなどパワフルでコミカルな振り付けで人気を博した4人組ダンスパフォーマンスユニット「新しい学校のリーダーズ」、強暴で知能の高い新種のクマといったイメージが広がった「OSO18/アーバンベア」、好意を持っている相手のことがふとしたきっかけで嫌になってしまう「蛙化現象」、問いかけるとすぐさま回答してくれる「生成AI」、世界的に強烈な暑さにもみまわれた「地球沸騰化」、WBCでヌートバー選手が日本チームを勢いづけた「ペッパーミル・パフォーマンス」、これまで将棋と縁のなかった人々が大盤解説会の会場に足を運んだり、対局中継サイトを熱心に見入るなどする「観る将」、高額求人につられ強盗団の実行犯に加わる「闇バイト」、コロナ禍の行動制限が緩和され、スポーツ会場などでの声出し応援が可能となった「4年ぶり/声出し応援」、選考委員特別賞には、海外でも人気広がったお笑い芸人・とにかく明るい安村さんの決めゼリふ「アィム・ウェアリング・パンツ」が選ばれました。どうです全部の言葉が分かりますか？

年賀状を出すのをやめる「年賀状じまい」をする人が増えていると聞きますが、専門家は相手を思いやって、やめる理由を事前に丁寧に伝えることや、メールアドレスやSNSのIDを教えてつながりを切らさないことなどを勧めているそうです。日本郵便によると、メールなどで新年のあいさつをするケースが増えていることなどから、来年用の年賀はがきの発行枚数はことしより1割ほど少ない16億4000万枚と、これまでで最も多かった平成16年用に比べ6割余り少なくなっているとのこと。ことしも残すところ1か月を切るなかで「年賀状じまい」をするかしないか悩ましい年齢になりました。

それでは皆さん！ Merry Christmas!
そして、良いお年をお迎えください！



「ウィークリースタンスの徹底を」お願いします

- ① 昼休みや16時以降開始の打合せは行わない
- ② 休日明け日(月曜日等)は依頼の期限日としない
- ③ 休前日(金曜日)は新たな依頼をしない
- ④ ノー残業デー(水曜日)は勤務時間外の依頼はしない
- ⑤ ランチタイム・オーバーファイブ・ノーミーティング
- ⑥ イブニング・ノーリクエスト (R5.6から)



○必見！ ホームページをご覧ください！ 新たな情報等があれば教えてください

www.hokurikuyouchi.co.jp

○お願い！ 「Aipo」を活用しましょう